

**事業名:** スポーツクラブによる困窮世帯支援事業  
**資金分配団体:** 一般社団法人RCF  
**実行団体数:** 7団体  
**実施時期:** 2021年3月～2022年3月  
**事業対象地域:** 全国（秋田市、長野市、さいたま市、川崎市、京都市、熊本市、沖縄県）  
**事業対象者:** 新型コロナウイルスの影響を受けた個人及び事業者

進捗報告/事後評価に向けた評価計画

I. 実施状況の分析

リスク要因の把握と対処：事業実施上想定されるリスク要因（組織外、組織内）	状況の把握方法	想定する対応方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>■公募に対しての実行団体の不足</li> <li>■実行団体選定時の偏り</li> <li>■実施体制の不備による事業の遅滞</li> <li>■地域における社会的インパクトの不足</li> <li>■新型コロナウイルスによる感染拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公募に対しての実行団体の不足                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募説明会参加者数</li> <li>・公募提案数</li> </ul> </li> <li>■実行団体選定時の偏り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募提案書内容の確認、まとめ</li> </ul> </li> <li>■実施体制の不備による事業の遅滞                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行団体との定例ミーティング</li> <li>・月次進捗報告</li> <li>・中間報告</li> </ul> </li> <li>■地域における社会的インパクトの不足                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行団体が実施するアンケート結果</li> </ul> </li> <li>■新型コロナウイルスによる感染拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省WEBサイト</li> <li>・各実行団体所在地自治体の公表</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公募に対しての実行団体の不足 （対応）Jリーグ（日本プロサッカーリーグ）の加盟クラブに対して事前にヒアリング・アンケート調査を実施し、10団体以上が興味・関心を示していることを確認</li> <li>■実行団体選定時の偏り （対応）サッカークラブに限らず各スポーツ関係団体に幅広く発信。選定時に地域における困窮世帯に対し、早急な支援を行えるか、インパクトがあるかを前提に選定。</li> <li>■実施体制の不備による事業の遅滞 （対応）東北における災害復興事業などの事業経験のある一般社団法人RCFがサポート。また、事業者支援に長けた人材を実施体制に加え、実行団体への伴走支援を実施</li> <li>■地域における社会的インパクトの不足 （対応）多くの地域スポーツクラブが従来の社会貢献活動の社会的成果を定量的に発信しており、想定される実行団体は社会的インパクトを把握する仕組み・ノウハウを保有していると想定。実行団体の体制や取り組みを注視しながら、一般社団法人RCFと定期的に協議を重ね、事業のインパクトを評価・発信する体制を構築</li> <li>■新型コロナウイルスによる感染拡大 （対応）実行団体となる地域スポーツクラブは、厚生労働省のガイドラインをもとに最新の感染状況に対応し、事業を実施する予定</li> </ul>

II. 見直し後\*の事業実施で達成される状態（アウトプット） 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実施を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
新型コロナの影響により生活困難に陥った世帯への生活支援実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困窮世帯への支援世帯数</li> <li>・支援を通じた、困窮世帯の課題把握および支援実施数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援管理（支援を通じて困窮世帯の状況を把握）</li> <li>・困窮世帯へのアンケート・ヒアリング調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1実行団体ごとに、100～200世帯への支援実施</li> </ul>	2022年2月末日
新型コロナの影響で売上げが減少した飲食店・一次産業に対する販路開拓・売上げ向上等の支援実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店・一次産業等への販路開拓・売上げに関する支援実施数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店・一次産業等への支援実施状況の直接観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1実行団体ごとに、10事業者以上に対する支援の実施</li> </ul>	2022年2月末日

\*実行団体の事業計画等から見直した結果

III. 見直し後(\*)の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び 目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

事業実施後（1年後）以降に目標とする状態	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	実施時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ禍で拡大した社会課題（困窮世帯の生活難）に対する取り組みが実施され、支援が地域全体に行き渡り成果をあげている状態</li> <li>・本事業終了後、自立して取り組みを継続実施している状態</li> <li>・実行団体と当団体が連携をしながら他地域や他スポーツクラブへ波及し、地域スポーツクラブが困窮世帯支援の中核的存在として新しいモデルを確立している状態</li> </ul>			

\*実行団体の事業計画等から見直した結果